

東和便り

第33号 きのくに学力定着フォローアップ事業6号
2016.12.13 東和中学校

第6回「きのくに学力フォローアップ事業」(1年数学 提案授業)!!

12月12日(月)3限 1年1組 「数学科」 授業者 見矢 龍真 先生

授業のはじめに前時のふり返りの後で、本時のめあてが示されました。次に四人一組のグループになって共有の課題に取り組みました。

「まずはひとりで考えよう」、「わからなかったらきこう」、「きかれたらこたえてね」

授業者の落ち着いた静かな声に応えるように、各グループで「学び合い」が始まりました。

授業者の意図的指名により2人の生徒が共有の課題の作図を黒板で発表。その後、ジャンプの課題への進んでいきます。

「目盛りのない白紙の用紙に書かれた三角形を平行移動させた図を書きなさい」

〈書き方を説明しよう〉

ジャンプの課題は、本校の課題である、『根拠をもとに自分考えを説明したり、人に伝えること』誰もが自分の言葉で自分の作図方法を人に伝えるために『書くこと』に一生懸命に取り組めていました。そして、生徒相互の「聴き合う関係」も構築され、「静かな学び」、「対話的・主体的な学び」が展開されていきました。



まずは独り(ひとり)で考えよう



わからなかったら訊(き)こう



訊(き)かれたら応(こた)えてね



訊(き)かれるまでは教(お)えない 授業者の支援



意図的指名による発表



発表(二人で協力しながら)



自分の考えを書く



びっしり書き込む

これからは「書くこと」が求められますよ!

(12月9日付け 毎日新聞 記事より)

文部科学省は現行の大学入試センター試験に代えて20年度に始める新共通テストで短文形式と長文形式の記述式を課す方針で、国立大の受験生は新共通テストか2次試験のいずれかで必ず長文の記述式を解くことになりそうだ。

